

よこすか 働き人

VOL. 20

仕事の中で「楽しい」を追究する

現在の会社に勤めていた友人から声をかけてもらったのがきっかけで、ベンチャーへ転職したのは5年前でした。様々な情報を扱うITの仕事の中で、ソフトウェアが市場へ出る前の評価、検査業務が私の仕事です。

ハウスメーカーの営業、インテリア雑貨の販売店を経て、接客業ではなくなりましたが、どんな職場であっても変わらない「人とのコミュニケーション」は、私が特に大切にしたい部分です。

弊社には「仕事の中の『楽しい』を追究する」というミッションがあり、「いかに仕事の中での楽しさを見いだせるか」を話し合う、中学生のグループペディ

自分がどうしたいのか

どうなりたいかを考える

YOKOSUKA HATARAKI-BITO



あそう かずと
麻生 和人さん

株式会社モバードシステム 入社5年

スカッションのようなワークをします。そこで重要としているのは、「人と共に」ということです。楽をするのではなく、楽しく仕事をするという議論で、情報の共有・新たな発想による相乗効果を生み出す社内のことになっています。

職場体験と、将来の仕事のキャリア

弊社が受けたグループペディスカッションに、MTTの一人として初めて参加させていただきました。

職場体験はそれぞれが「楽しかった」と嬉しそうに話すキラキラした子ども達の姿が好印象で、素直な感情を言葉にしてくれました。しかし、将来の仕事について聞いてみると、「仕事は辛いもの」だと思っていることに、職場体験の感想とのギャップを感じました。私の中学生時代は、仕事について深く考えることはありませんでしたが、身近な人に「働くことが辛い」というイメージを持っている人はいませんか。私が話を聞く限りでは、自分達の頃とは時代背景が異なり、子ども達を取り巻く環境や情報過多が、影響しているのだと思います。

職場体験では、「楽しみ」をそれぞれ感じていたので、将来の仕事もやってみてから実感していくのだと思います。

何時間でも話っていたい

グループディスカッションでは、思春期の複雑な思いや時間制限もあって、友達の前や初対面の大人に、気持ちを表すのが難しかったと思います。「どうせなれない」とか「馬鹿にされる」と諦めてしまっている。そういつたところも理解して、びっくばらんに話してあげたかった。やっと打ち解けてきた時に終わってしまったので、私としては何時間でも話していたい気持ちでした。

後日送られてきた感想文には、あまり発言しなかった子の「夢」や「やりたいこと」が書かれていました。用紙いっぱい思いを読んで「いつか、一緒に働いてみたい」と、心を動かされました。「内に秘めた思い」があることを知り、大人はもっと子ども達の話を聞いてあげるのだと思いました。そこでは、表現の工夫や伝え方が重要になってくると思います。MTTとしての自分達への今後の課題でもあると感じました。

自分がどうしたい、どうなりたいか

私が思うのは、仕事は誰かにやらされている訳ではないということです。自分で働くことを決めたのなら、どうしたら

楽しくなるか考えることは出来ます。中学生のみなさんにも、まずは自分がどうしたいのか、どうなりたいのかを考えて欲しいと思います。学んだ先に自分はどうしたいのかを突き詰ると、学びの中にも楽しみを見出せると思います。

私は高校時代、仲間とダンスの路上パフォーマンスに夢中になっていました。何をやるにしても、精一杯やる方が気持ちがいい、何にも変えられない達成感も感じられると思います。少し勇気があると思いますが、前回きになることを恥ずかしながら、表に出して欲しいです。MTTを経験して、大人同士の会話からは得られない新鮮な感覚や気づきを与えてもらいました。仕事に行き詰まった時は、あの日に会った子ども達のキラキラした笑顔、屈託のない姿を思いだせるようになりました。この体験で、最終的に、私が得たものの方がはるかに大きかったことは間違いありません。

子ども達の成長を理解し、大人達が良質な刺激を与える

(株)モバードシステム 取締役 村山 弘さん

弊社のエンジニアは、企業などへの出向で集中した仕事ができる一方、帰属意識が失われやすく、その先にいるユーザーの声が直接届かないため、自分の仕事の評価や達成感が得にくい側面を抱えています。

参加したグループディスカッションでは、子ども達から私達が失ってしまった発想力に刺激をもらい、大人のネガティブな考えをリセットさせてくれるナチュラルな思考の体感を頂くことが出来ました。参加した大人が勉強させてもらっていると感じています。

弊社は小さいながらも、地域の「子ども達のためになる授業」をしたいと思っていました。MTTへの参加、職場体験の受け入れは、予てからの夢を実現へと近づける一歩となりました。

マスメディアは時代を悲観的に捉える風潮がありますが、決して退化しているわけではないと思います。先進国の人口減・超高齢社会の時代にあって、今の子ども達が未来の大事な人財となることは確実です。子ども達に起こっている大切な学びの時間、すべきことの集中力を欠かすメディアの存在は、生産性を落としてしまう懸念を拭きません。

大人がすべきことは、他者依存ではない学びの楽しさ・仕事の意義を、子ども達の成長を理解した上で良質な刺激を与える。それを自らの態度で示すことが重要であると考えています。キャリア教育にはその可能性が十分にあると感じています。企業としても注目すべきではないでしょうか。

(株)モバードシステム

※2013年度 MTT 派遣回数 4 回

〒239-0847 神奈川県横須賀市光の丘 8-3 YRP パンチャ棟 217 号

Tel. 046-848-8481 Fax. 046-854-4011

URL <http://www.movado-system.com>

事業内容

SE 事業 / 携帯端末開発、Windows アプリケーション開発、

Web アプリケーション開発等

テストエンジニア事業 / 携帯電話出荷前品質事業、無線プロトコル性能

評価、NW ノート機能検証

※モバードの語源はエスペラント語で「たゆまぬ前進」です。常に人間色向上を意識し更なる成長を目指します。



不入斗中学校に MTT として参加